

# みえないいちから

校長 小林 信



2月とは思えない暖かい日があれば、冬の厳しい寒さを感じる日もあり、天気の移り変わりが予測しがたい状態が続いています。気温の差が大きく変化するとそれだけで体調不良を起こしやすい状況でもあり、子ども達の健康状態を心配する毎日です。

一方、子ども達はというと、そんな心配をよそに、白い息を吐きながら登校し、休憩時間は、校庭や体育館で汗をかくほど活動しています。校庭に積もった雪での雪遊びでは、いつもよりたくさん子ども達が校庭に出て雪の感触を楽しんでいました。子ども達の姿に元気づけられる毎日です。



さて、3学期も残り一か月あまりになりました。今、学校では、6年生は卒業に向けて、そして、1～5年生は、学年末の成果発表と6年生を送る会の準備に取り組んでいます。最後までやりきること中学校へ、そして、次の学年へ進んでいってほしいと考えています。「あと、何日しかない！」より「まだ、何日ある！」という思いで1日1日を大切に子ども達と向かいあっていこうと考えています。

## お祝い給食（のどぐろ1尾） 2 / 15



市内中学校3年生、小学校6年生にお祝い給食として「のどぐろ」1尾が付いた給食が提供されました。この「のどぐろ＝アカムツ」は、底引き網漁に関わっている方から「のどぐろ」の提供を受け、水産高校生徒が下処理を行い、給食センターで塩焼きにされたものです。本校6年生には、2月15日に提供があり、合わせて4時間目に、「のどぐろ」の提供に関わった方からお話を聞く機会がありました。内容は、水産振興課の方や底引き網漁に関わっている方より「浜田市の漁業について」「どんちっちのどぐろについて」「セリ指体験」「のどぐろが提供されるまで」のお話を。そして、本校卒業生の水産高校の1年生二人より「のどぐろ」を下処理した時の様子について話を聞きました。「昨年度は、食べる側だった水産高校生は、今年度は、提供す



る側になり、一食の食材に多くの人に関わっていることを実感した」と話してくれました。6年生も食べる楽しみだけでなく、食材を通して多くの人に見守られていることを感じる事ができたと思います。素敵な時間をありがとうございました。

### 委員会紹介 5年生から4年生へ

5年生の子ども達がタブレットを持って委員会の様子を写真に撮っている場面に会いました。様子を聞くと5年生が4年生に委員会紹介をする資料作りだと話してくれました。ちょうど本番の時間に様子を見ることができました。5年生が委員会のメンバーごとに順番に4年生教室に出かけ委員会の紹介をします。そして、4年生からの質問を受けます。5年生は、かなり緊張していましたが、わかりやすく紹介していました。また、4年生も真剣な態度で発表を聞き、たくさんの質問をしていました。発表が終わった後、5年生のほっとした表情がとても印象的でした。また、4年生も来年度の委員会活動に意欲をもてたことでしょう。



3学期は、いろいろなことが引き継がれていく場があります。こうした場が子ども達の次の学年への期待や希望を高めていくことにつながると考えます。

### 学校関係者評価より

1学期、2学期と保護者アンケート大変お世話になりました。教職員アンケート、児童アンケートと合わせて今年度を振り返り、来年度、新たな一手を打ち対応していきたいと考えています。概ね肯定的な評価が高い項目が多い中で、「気持ちの良いあいさつや返事ができる」「テレビやゲームの時間を守り、早寝、早起きをしている」の項目は、昨年度より肯定的な評価が上がってきていますが、全体には肯定的な評価が少ないです。現在の取り組みを継続しながらも改善策を打ち出していけないと考えています。また、大人の肯定率が低い内容でも、子ども達の肯定率が高い内容があります。それは「気持ちの良いあいさつができる」という項目です。子ども達は自分なりにあいさつや返事をしていると思います。しかし、求める姿は、「自らあいさつをする姿」や「大きな声であいさつをする姿」であったりします。子ども達に求める姿を具体的に示していくことも必要かと考えます。もう一つ「進んで読書をしている」項目は、保護者アンケートでは肯定的な評価が少ない項目です。実際、学校では、多くの子ども達が本を読んでいます。家庭では、それ以上にやりたいことがあります。優先順位として読書は選択されないのかもしれませんが。何とか家庭の時間に読書は組み込まれないものかと考えます。家庭での時間の使い方は、メディア、家庭学習等も含めて一手を打っていく必要があります。そうです。